

平成28年度重点事業

資料編

学びと地域活動を支援するプロジェクト

「地域寺子屋事業」

1 目的

地域における学習活動や体験活動をとおして、子どもたちが自分の力を伸ばし、社会性や人間性を育めるよう、家庭や学校と連携しながら地域で子どもを育てることを目的とする。

2 内容

(1) 中学生への学習支援事業

- 実施日 平日の夕方以降2時間 週2回程度
- 会場 市内公民館等（平成28年度は8会場程度）
- 対象 市内中学生
- 参加費 無料
- 学習スペース提供＋学習指導（7会場）
 - ◆内容
 - ・自主学習（予習・復習、テスト勉強、入試対策等）
 - ・テキストを利用した学習（講師による指導）
 - ・学校と連携した進路相談
 - ◆指導者
 - ・教員資格を持つ指導責任者、サポーター（地域・学生人材）
- 学習スペース提供（1会場）
 - ◆内容
 - ・自主学習の場所を提供し、市民の自主運営に任せる。

(2) 小中学生の地域体験支援事業

- 実施日 土日月1回程度
- 会場 市内全公民館
- 参加費 実費
- 対象 市内小中学生
- 内容 地域に根ざす体験的活動・ふるさと学習
（地域での遊び、昔遊び、のびゆくこどものつどい等）
- 指導者 各種有資格者、お年寄り、子育て連等の地域人材等

地域寺子屋事業



地域の自然・文化を生かした教育

赤城山ろく里山学校

- ◎ 赤城山麓の自然や土地の特性などを生かした体験活動
- ◎ ふるさとのよさに気づき、ふるさとを愛する心の育成
- ◎ 地域の幼児、小学生による異年齢交流、地域の人との交流

大胡地区

大胡地区の人と地を活用した体験活動

- ・ デイキャンプ（火おこし、飯盒炊飯）
- ・ 金丸分校を利用した星空観察
- ・ 地域の産業を活かした体験活動



◎大胡公民館の社会教育事業（大胡地区学校支援連絡会連携事業）として実施

宮城地区

阿久沢家住宅を利用した体験活動

- ・ 住宅及び周辺での自然体験及び学習
- ・ 住宅での生活体験
（農業体験、夜の里山観察、宿泊）



◎文化財普及啓発事業として実施



粕川地区

粕川冒険ランドでの体験活動

- ・ 木の実幼稚園「遊びの森・冒険遊び場」での自然体験、クラフト、食事づくり
- ・ 探検ハイク、沢登り、たな田学習



◎児童文化センターの体験活動として実施

富士見地区

ふじみフレンドシップキャンプ

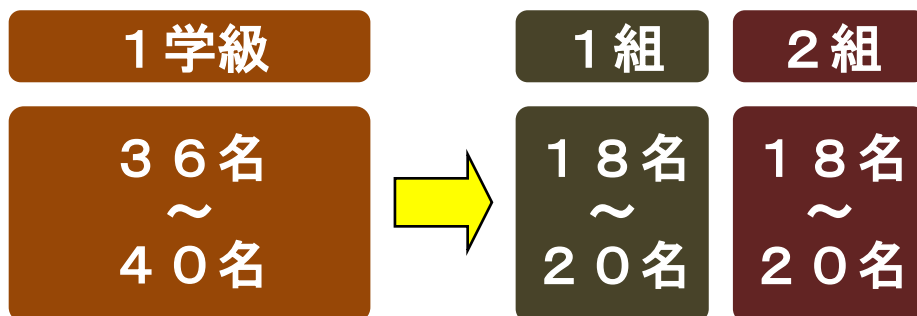
- ・ 富士見地区4小学校の児童の交流活動
- ・ 少年自然の家等でのふれあいキャンプ
- ・ 特産品収穫体験、富士見カルタめぐり



◎富士見公民館の社会教育事業として実施

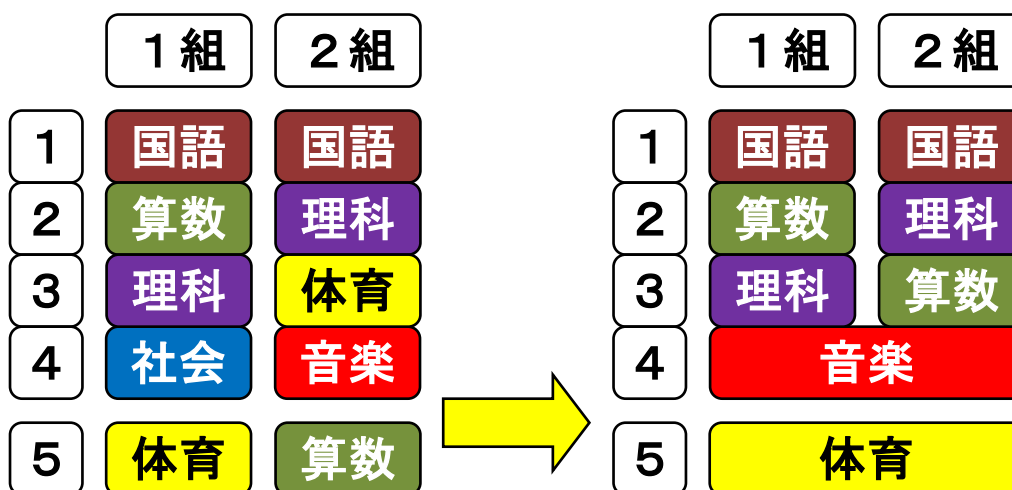
少人数学級編制

平成27年度：35人学級編制の実施（小5・小6の単学級）



- ・平成27年度は、5校5学級にて実施。
【敷島小、上川淵小、清里小、筑井小、石井小】

次年度以降：弾力的な学習集団の編成



- ・国語や算数は少人数指導による指導が効果的である。
- ・音楽や体育では大人数学習集団により活力が上がる。
- ・学習集団の工夫により、教師が子どもと向き合う時間の確保にもつながる。

ICTを活用した教育の推進

児童生徒一人一人の能力や特性に応じて情報を収集・整理し、お互いに教え・学び合うことにより興味・関心を高め、思わず身を乗り出す授業の実現に向けてICTを活用した教育を推進する。

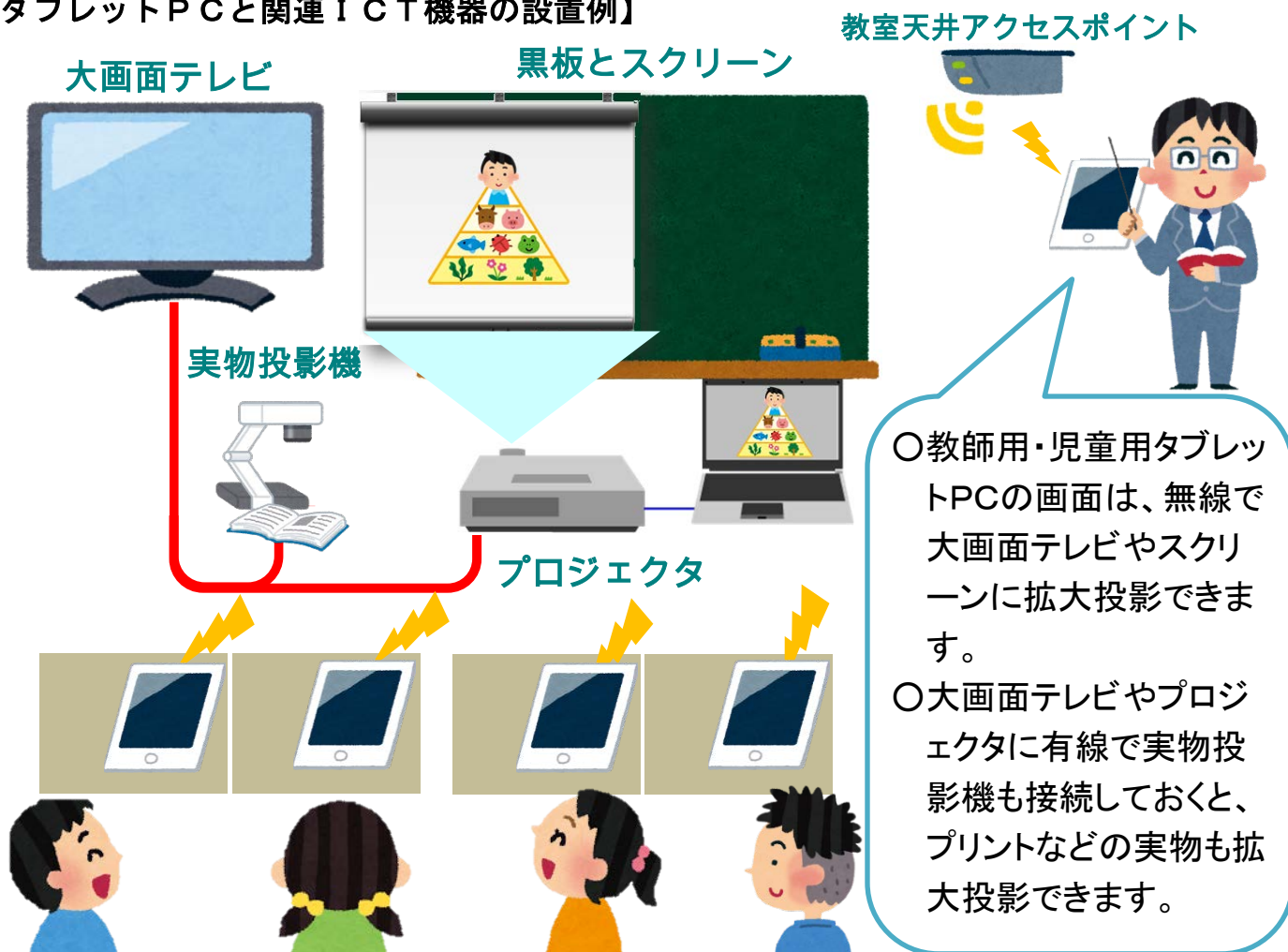
1 教室のICT環境の充実

実物投影機や電子黒板、教師用タブレット端末等をすべての普通教室に整備し、ICT機器を効果的に活用した授業を展開することができるようにする。

2 校内LANの無線化

現在、有線で敷設されている各学校の校内LANを無線LANにより拡張する。これによりタブレット端末の活用を図る。

【タブレットPCと関連ICT機器の設置例】



前橋市の特別支援教育体制(特別支援教育室設立構想)

特別支援教育室において特別支援教育体制の充実に向けて、情報発信や指導・助言を行うほか、巡回相談等の実施や教育支援委員会の運営を通して特別支援教育を充実させるとともに、学校や教育相談機関との連携の強化を図ります。

理解啓発

特別支援教育に関する講演会の開催や情報提供を行い、学校や保護者、市民の理解啓発を進めます。

教職員研修

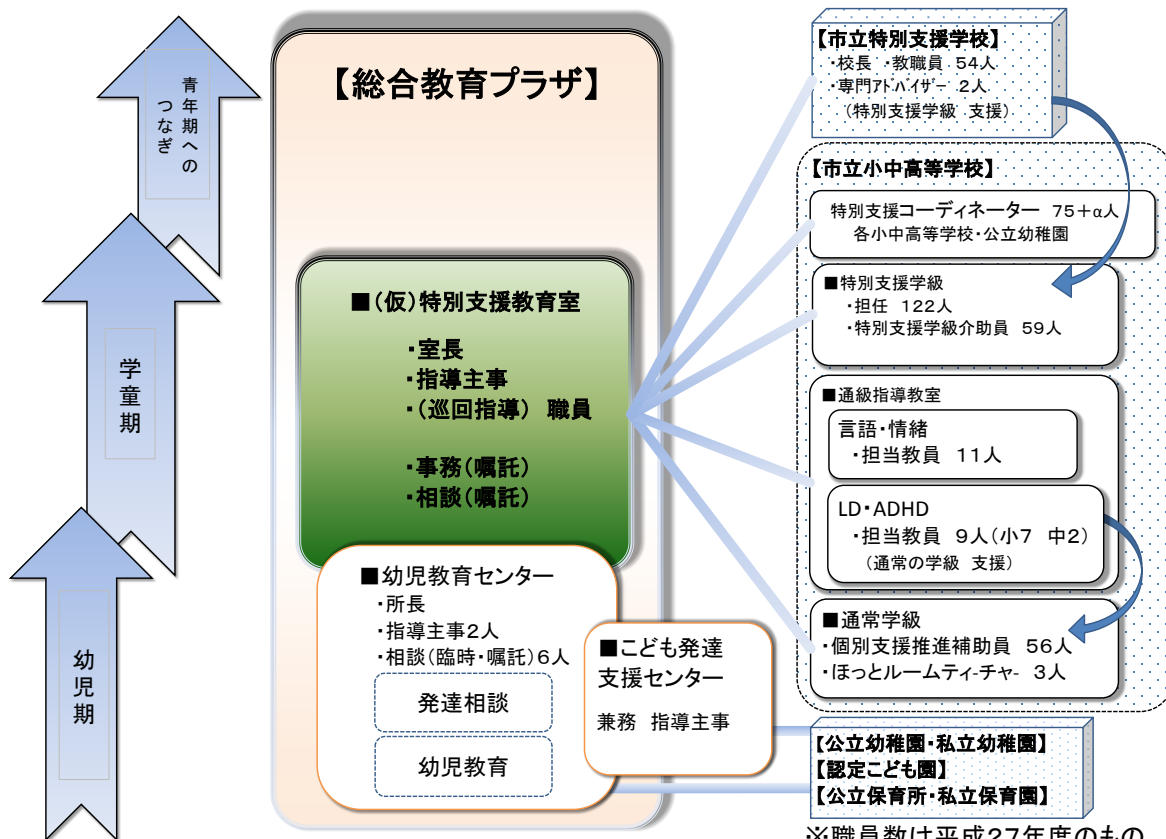
特別支援教育の校内支援体制づくりや、教育課程、指導方法等に関する研修会の開催や、計画訪問や要請訪問により指導助言を行うなど、教職員の資質向上を目指します。

教育支援委員会の運営

教育支援委員会を開催し、委員会の総合的な判断に基づいて児童生徒に対する特別な教育的支援が進められるようにします。

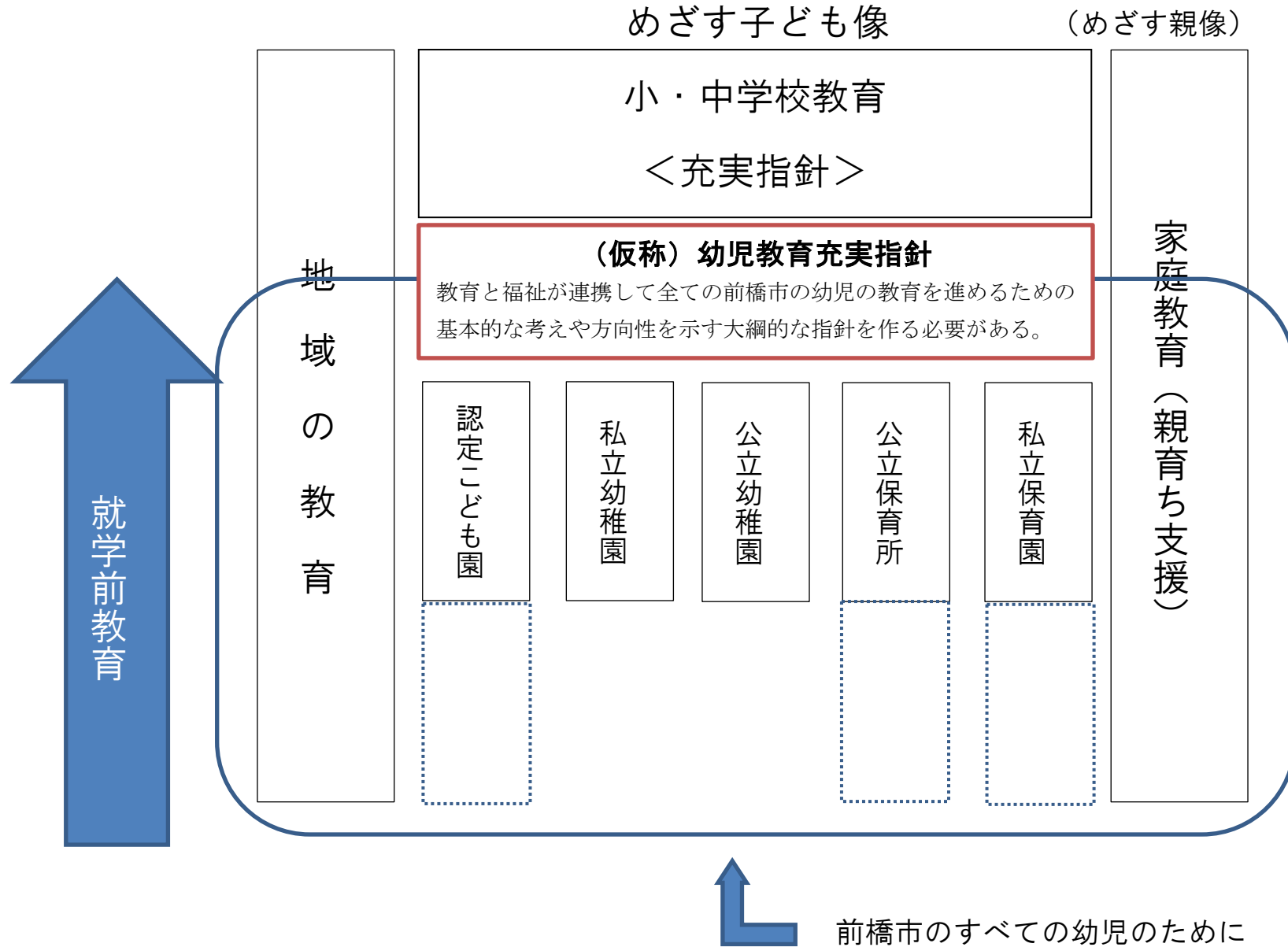
相談・連携

小中学校への巡回相談の実施や、保護者や本人の意見を尊重した就学先決定のための相談などを進めるとともに、支援の充実に向けて関係機関との連携を進めていきます。



～子ども・子育て支援法のねらいは、質の高い幼児教育の推進～

幼児のための親育ち（前橋の子どもたちのために一緒に考えよう！！）



ひきこもり傾向中学卒業生支援事業

◎進学、就職をしなかった中学校卒業生の社会的自立を支援

進学

全日制高校・定時制高校・フレックス高校
通信制高校・産業技術専門学校・サポート校（※1）

就職

アルバイト・就職

こんな機関がサポートできます

健康増進課（相談・家族のサポート・医療と連携）

総合教育プラザ 相談室（進学・家族・友達）

子育て支援課
（子育ての悩み）

社会福祉課（経済的な支援・まえばし生活自立相談センター）

国や県の支援（サポステ・G-SkyPlan）
等も連携します
（※2 ※3）

産業政策課（若者就職支援）

青少年支援センター

オーブンドアサポーター（※4）とともに卒業生やその保護者と関わりをもち、適切な支援が可能な市役所の関係各課につなぐなど、各課と連携してひきこもり傾向の中学卒業生の社会的自立に向け支援を行います。

働いてみたい

相談

もっと勉強したい

どうしたらいいか
分からない

オーブンドアサポーターが訪問
聞き取りや状況の確認

訪問

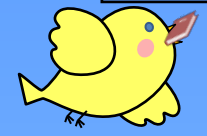
進学、就職をしなかった中学校卒業生

（※1）サポート校・・・通信教育を受けている生徒や高校卒業程度認定試験合格を目指す生徒に学習支援などを行う施設。

（※2）サポステ（地域若者サポートステーション）・・・就労への悩みを抱えている若者を支援する厚労省の事業

（※3）G-SkyPlan・・・悩みを抱える青少年の自立に向けた支援を行う県の事業

（※4）オーブンドアサポーター・・・不登校及び不登校傾向生徒に対し、家庭訪問を中心に支援を行う前橋市独自の支援隊（NPOに委託・全市立中学校に配置）



伝えよう 本のすばらしさを

みんなで一緒に第二次計画をすすめましょう

取組の1

子どもが本と出会うために

子どもたちに「本のすばらしさ」を伝えていくために、第一次計画で進めてきた「本との出会い」をさらに充実していくことが大切です。特に、本と子どもたちをつなげていく「人」のかかわりを大切にして、前橋の子どもたちが、本と出会うきっかけづくりをすすめましょう。

取組の2

子どもが主体的に本に親しむために

本を読んだ経験や感じたことを言葉にしたり、他の人と分かち合ったりすることが、主体的に読書をする上でも大切です。
前橋の子どもたちが、自分で本を選び、読んだ本のすばらしさを伝えられる場面をたくさん作り、主体的に本に親しめるよう、みんなで取り組みましょう。



本のすばらしさを伝える施設の充実

利用してもらうための工夫

子どもが利用する施設では、いつでも様々な本に触れることができる環境づくりが大切です。
児童書などの図書資料を充実し、これらの本を子どもたちにつなげる工夫も重要です。

子どもと本をつなぐ人の役割

子どもに本のすばらしさを伝えたり、子どもが気軽に本について相談したりできるような「人」の存在が大切です。
図書館の職員、ボランティア、学校や幼稚園の先生、保育所（園）の保育士など、子どもの読書にかかわる全ての人が、子どもに積極的に声をかけるなど、その役割を工夫しましょう。

子どもが本と出会うために
—こんなことから始めましょう—

- 1 生まれる前から
絵本のある家庭環境づくりを進めることは、子どもが本と出会うきっかけづくりにつながります。
- 2 はじめての絵本
早い時期から絵本に出会えるようにしましょう。
- 3 子どもへの読み聞かせ
たくさんの機会を捉えて、子どもたちの豊かな読み聞かせ体験を推進しましょう。
- 4 子どもに本をすすめましょう
子どもたちに様々な場、方法で本を紹介しましょう。
- 5 親子で読書を
機会をつくって親子（家族）読書を推進しましょう。
- 6 イベントや行事に参加しましょう
イベントや行事を通して本の楽しさに出会えます。親子で、家族で、子ども同士で参加しましょう。

子どもが主体的に本に親しむために
—こんなこともできますね—

- 1 本について話しましょう
子どもたちが、同じ本を読んだ人と、本について語りあえるようにしましょう。
- 2 友だちに本をすすめましょう
子どもたちが、色々なところで、友だちに自分の好きな本をすすめられるようにしましょう。
- 3 今度は私が読み聞かせ
子どもたちが、色々なところで、小さい子やお年寄りなどに積極的に読み聞かせができるようにしましょう。
- 4 図書について学びましょう
子どもたちが、図書館などにいる専門性の高い人から学べるようにしましょう。
- 5 子ども読書サミット
多くの前橋の子どもが集まり、自ら考え、議論し、そして全国の子どもたちへ発信していけるようにしましょう。



この他にも、もっとたくさんの取り組みがありますね。
子どもに関わる全ての人それぞれが、よりよいアイディアを出し、工夫して取り組んでいきましょう。

新総社資料館の展示イメージ

(平成28年10月開館予定)

学校見学への対応も含めた活用についての検討を進めていく。

3 展示解説(詳細説明)

近づくとも自動で案内されるよ!

フロアマップの該当部分をタップすると、説明が表示される。(10箇所程度)

画像	Title
	Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi ut aliquip ex ea commodo consequat.

4 クイズ

前橋市総社資料館

- 一般クイズ (100問程度)
- 検定 (30問程度)

1 縄文人一般常識 2 縄文人検定

Web画面を想定。
プログラム自体はWebサイトに設置する。
問題の入れ替えはCSVのアップロードなどで可能にする。

縄文人は何を食べていたんだろう

シカ
ラーメン
寿司

3 正解問題数 20 問達成メダル

正解問題 30 問中 20 問

友達に自慢する

f t



1 操作説明

操作端末の画面イメージ

10:05 AM

前橋市総社資料館

1 案内 2 検定クイズ

3 展示説明 4 縄文人検定 5 ARコンテンツ

2 当館の説明

5 ARコンテンツ

10:05 AM

2

1 評価表示

評価表示

評価表示

評価表示

例: 補足説明。画像が動く。

- ARポイント(5箇所)
1. 蛇穴山古墳の復元
 2. 根巻き石の復元
 3. 宝塔山古墳内部の復元
 4. 塑像の復元
 5. 天狗岩用水の模型に説明表示

1 2 1

2

・スライドショー(2編)

・山王廃寺の3DCGによる復原(1編)

展示用アプリ(CG等)

10:05 AM

10:05 AM

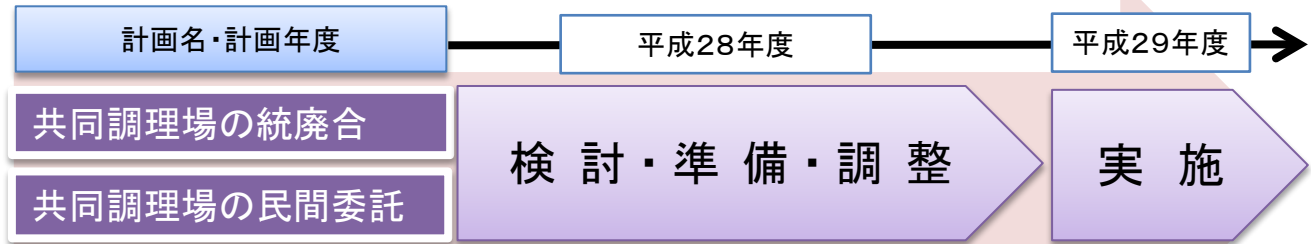
1

塑像立体AR

例: 像が動く(回転する)。

※前橋市はデータです。

共同調理場の適正化



富士見共同調理場

所在地：富士見町小沢
 開設日：平成17年4月
 建物面積：1,366㎡
 受配校：小学校4校
 中学校1校
 学級数：73クラス
 対象調理食数：2,069食
 調理可能食数：2,400食

宮城共同調理場

所在地：鼻毛石町
 開設日：平成16年4月
 建物面積：561㎡
 受配校：幼稚園1園
 小学校1校
 中学校1校
 学級数：31クラス
 対象調理食数：758食
 調理可能食数：900食

粕川共同調理場

所在地：粕川町西田
 開設日：平成4年4月
 建物面積：739㎡
 受配校：小学校2校
 中学校1校
 学級数：33クラス
 対象調理食数：881食
 調理可能食数：1,000食

西部共同調理場

所在地：総社町総社
 開設日：平成元年1月
 建物面積：1,603㎡
 受配校：小学校9校
 中学校4校
 学級数：193クラス
 対象調理食数：5,274食
 調理可能食数：5,500食

北部共同調理場

所在地：五代町
 開設日：平成19年8月
 建物面積：3,066㎡
 受配校：幼稚園3園
 小学校9校
 中学校6校
 学級数：246クラス
 対象調理食数：6,875食
 調理可能食数：6,875食

東部共同調理場

所在地：荒子町
 開設日：平成6年4月
 建物面積：1,782㎡
 受配校：特別支援1校
 小学校11校
 中学校3校
 学級数：200クラス
 対象調理食数：5,459食
 調理可能食数：5,600食

南部共同調理場

所在地：上佐鳥町
 開設日：平成14年9月
 建物面積：2,551㎡
 受配校：小学校13校
 中学校5校
 学級数：258クラス
 対象調理食数：6,838食
 調理可能食数：7,000食

【既民間委託】

- 調理 平成20年4月～
(東洋食品㈱)
- 配送 平成27年4月～
(㈱グローバル)

